



## 全般的な注意

すべての問題について、以下に注意すること。

- コンテストサイトから、添付のパッケージをダウンロードすることができる。
- 添付のパッケージには、採点プログラムのサンプル、実装のサンプル、入出力例と、コンパイル用スクリプトが含まれている。
- 各課題に対して、50 回まで提出することができ、それぞれの提出においてはちょうど 1 つのファイルを提出する必要がある。
- あなたが提出すべきファイルの名前は、問題文のヘッダに記されている。
- そのファイル内で、問題文に記されたプロシージャを実装する必要がある。引数や戻り値の型は実装のサンプルに合わせる。
- 問題文に記されていないプロシージャを実装しても良い。
- あなたのプログラムは、標準入力から読み込んだり、標準出力に書き込んだり、他のいかなるファイルともやりとりしてはいけない。ただし、標準エラー出力に書き込んで良い。
- あなたのプログラムは、`exit()` や `System.exit()` を呼び出してはいけない。
- 採点プログラムのサンプルを用いる場合には、問題文に記された制約やフォーマットを満たした入力を用いる必要がある。さもなければ、予期せぬ挙動を示すかもしれない。
- 採点プログラムのサンプルの入力においては、特に記述のある場合を除いて、同じ行の連続した 2 つのトークンの間はすべて 1 つのスペースで区切る。
- あなたのプログラムを手元のコンピュータでテストするときは、添付のパッケージ内のスクリプトを使用することを勧める。これ使用しない場合、特に C++ を用いるときには、コンパイルオプションに `-std=gnu++17` を付ける。

## 慣習

問題文においては、`void`、`int`、`int[]` (配列) や `string` といった一般的な名称で型を表す。

採点プログラムでは、プログラミング言語に合わせて対応する型を用いる。対応は以下の表を参照すること。

言語	<code>void</code>	<code>int</code>	<code>int[]</code>	配列 <code>a</code> の長さ	<code>string</code>
C++	<code>void</code>	<code>int</code>	<code>std::vector&lt;int&gt;</code>	<code>a.size()</code>	<code>std::string</code>
Java	<code>void</code>	<code>int</code>	<code>int[]</code>	<code>a.length</code>	<code>String</code>

## 制約

課題	名前	時間制限	メモリ制限
gift	gift	1.000 秒	2.00 GiB
squares	squares	1.000 秒	2.00 GiB
routers	routers	1.000 秒	2.00 GiB
jelly	jelly	1.000 秒	2.00 GiB